



学校創立140周年
百年松

阿木名小中学校便り 令和元年5月20日発行

◇校訓「かしこく やさしく たくましく」
あぎな
明るく元気なあいさつができる子ども
ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
仲よく笑顔いっぱいの子ども
～花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子～



子育ては悩みの連続

校長 川原 啓司

10連休にわたるゴールデンウィークはどのようにお過ごしになったでしょうか。期間中には「令和」への改元もあり、日本中がお祝いムードに包まれました。新しい時代の幕開けということで、気持ちを新たにした方も多かったのではないのでしょうか。校内では初夏を告げるかのようにデイゴの木が赤い花をつけています。また、奄美地方



が全国に先駆けて梅雨入りしました。校区内には河川やふたのない側溝が多数あります。特に大雨の日は決して近づかないようにご家庭でも十分注意さ

「子は親の鏡」

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、
子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引込みみじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、
子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、
子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、
子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はい
いところだと思えるようになる

(『子どもが育つ魔法の言葉』ロシーロー・ルト、レイチャル・ハリス著 石井千春訳 PHP文庫)

せてください。

さて、保護者の皆様にとりまして日々の子育てにおいてはいろいろと悩みも多いことと思います。そのような時に書物等から子育ての知恵を学ぶのもひとつの方法です。そこで、ここでは世界 22 カ国で翻訳された名著『子どもが育つ魔法の言葉』の中の「子は親の鏡」という詩を紹介します。これは平成17年、新天皇（当時皇太子殿下）がお誕生日の記者会見の中で愛子さまの教育に際して読まれたことでも有名です。この本はベストセラーにもなりましたので、どこかで目にされた方も多いかと思います。

私自身も子育ての参考にすべく、話題となった当時本を購入しました。

時には感情的になることもあり、全てを実践することはできなかつたのですが、子どもと接する際の心構えとして頭に留めていました。機会があればぜひ手にとって欲しい一冊です。



